

●地域の不法投棄防止への取り組みを支援します

平成16年4月から富丘連合町内会では不法投棄対策委員会を設立し、地域が主体となって空地、河川、公園、山林への大型ごみの不法投棄の防止に取り組みます。手稲区では、西清掃事務所及び環境局清掃事業部不法投棄対策担当課と連携して、これを支援します。

●乳幼児の親子と地域住民が交流できる場づくりを支援します

乳幼児の親子と地域住民が交流できる場づくりを、子どもに関係する地域団体や福祉のまち推進センターなどが連携して取り組めるよう、企画・実施のお手伝いや開催に必要な教材（遊具）の貸し出しを行います。

●子育て家庭が絵本に親しむ機会を提供します

乳幼児の心の発達や親子のコミュニケーションの促進を図るために、読み聞かせのよさや絵本の選び方、年齢別おすすめ絵本などのリーフレットを作成し、読み聞かせをしているボランティアに活用してもらいます。また、専門講師による講習会を開催します。

●「健康づくり交流会」を開催し、手稲区内のネットワークづくりを支援します

健康づくり活動を進めている各種機関・グループ・行政等が情報を共有し、それぞれの役割を有効に果たすため、お互い顔を見合わせながら話し合う「健康づくり交流会」を開催し、地域ぐるみの健康づくりを進めるための、区内のネットワークづくりを支援します。

今年度は「健康づくり交流会」の一環として、健康づくり講演会・シンポジウムを8月下旬、交流会を11月及び2月頃に実施する予定です。

●「手稲区健康フェア」を開催し区民一人ひとりの健康づくりを応援します

区民一人ひとりの健康づくりを応援するため、各地域の健康づくりリーダーや関係団体と協働で企画・運営する健康フェアを9月23日(祝)に実施する予定です。

このイベントでは、健康度測定や健康相談・体力診断などを行い、一人ひとりの健康状況をお知らせします。

また、子どもとお年寄りの遊びのコーナーや介護保健施設見学等の、楽しく、役に立つコーナーに参加してもらい、

生き生きと暮らすことができるように応援します。



●各地域ぐるみの健康づくりを支援します

子育て中の母親から高齢者まで、様々な世代にわたる全ての人々が、健康で生き生きとした生活習慣を持つてもらうために、健康づくりリーダーや地域の人々と協働で、健康講座や運動体験、交流会等を企画・実施することにより、区内の各地域ぐるみの健康づくりを支援します。



シンボルゾーンで創るまちづくり

●自由通路「あいくる」を拠点とした情報発信と活動交流空間の創出を進めます

大型ディスプレイやショーウィンドー、多目的広場などを活用して、区民の生活に密着した情報提供を行います。また、多くの人が集い、さまざまな出会いとふれあいが生まれる情報発信と活動交流の場として、にぎわいのあるゾーンにしていきます。



●「フリーマーケットin いね」を実施します

省資源・リサイクル意識を高めるため、リサイクル活動を行う市民団体とともに、フリーマーケットを実施します。てっぽく・ひろば（手稲鉄北小学校旧校舍跡地）を会場に、4月から10月まで、全10回実施予定です。

●小学校にビオトープが整備されます

学校教育と連動した環境教育を推進するため、生きた教材として小学校に「学校ビオトープ」が整備されます。

平成15年度現在、手稲区内では既に富丘小学校に整備されていますが、平成16年度には、手稲鉄北小学校にも追加で整備される予定です。

(参考) ビオトープとは、ドイツ語で「野生生物の生息空間」を意味する造語で、具体的には、植物、小動物、昆虫、鳥、魚などが共生できる場所を造成するものです。近年都市化が進むにつれ、子どもたちが日常的に自然とふれあう機会が少なくなりつつあります。

このような状況の中、身近な場所で自然とふれあう場所を提供しようと、国内各地で学校ビオトープの整備が進められています。